

たきのうえ 議会だより

平成27年7月22日 第160号



テレビ朝日コメンテーター
川村 晃司氏
「これからの政局・政治動向」

RO CONVENTION CENTER

7月8日 町村議会議員研修会 札幌コンベンションセンター

6 月 定 例 会

も く じ

平成27年度政策予算・予算質疑	1 ~ 3
平成27年度条例の一部改正他	4
グリーンたきのうえ・たきのうえドリーム経営状況	5
一般質問 4議員が登壇しました	6 ~ 12
臨時会	13
議長・副議長就任挨拶	14

90万円を追加 比べ9.5%増

6月定例会

6月定例会が6月9日から開会し、改選後の政策予算を盛り込んだ一般会計予算ほか条例改正案、承認・報告等を審議し、全議案を可決して11日に閉会しました。

補正予算の主な内容

一般会計

歳入歳出予算を8億7890万円増、総額を43億4353万円としました。

△歳入▽

▽臨時福祉給付金給付事業補助金 390万円増

▽学校施設環境改善交付金 481万円増

▽森林環境保全整備事業補助金 2756万円増

▽森林管理道雄鎮内線開設事業補助金 2357万円増

▽四区会館地先小規模治山事業補助金 1300万円増

△歳出▽

▽庁舎維持管理経費非常照明器具改修工事 316万円増

▽建物解体事業(幸町会館) 583万円増

▽友好交流事業 301万円増

▽地域振興事務経費 74万円増

▽まち並み整備事業 2000万円増

▽ふるさと会事業 175万円増

▽遺族会補助金 21万円増

▽臨時福祉給付金給付事業 474万円増

▽高齢者福祉施設暖房設備改修補助事業 8679万円増

▽地域で繋げる障がい者就労バトン事業 89万円増

▽防犯灯・街路灯整備事業 2000万円増

▽滝上霊園道路整備事業 1999万円増

▽農業振興地域整備計画事業 345万円増

▽特産品開発事業 13万円増

▽高収益生産向上推進事業 422万円増

▽有害鳥獣駆除事業 61万円増

▽木質資源地産地消促進事業 800万円増

▽森林管理道雄鎮内線開設事業 4632万円増

▽森林保全機能推進事業補助金 320万円増

▽森林バイオマス資源活用事業委託料 294万円増

▽四区会館地先小規模治山事業 2600万円増

▽ホテル溪谷改修事業 5122万円増

▽「ずっと住まいるたきのうえ！」支援事業 900万円増

▽雇用促進住宅建設事業 1億2953万円増

▽幸和団地公営住宅建設工事 8698万円増

▽濁川小学校屋内給水管更新事業 1776万円増

▽基幹集落センター非常用照明器具改修事業 111万円増

▽文化センター改修事業 837万円増

▽郷土館生活歴史館改修工事 347万円増

▽駅舎記念館改修工事 193万円増

一般会計

平成27年度政策予算

8億7,8 前年度当初予算に

質
疑

庁舎維持管理費

△大原議員▽

役場庁舎の非常用発電機は大丈夫か。

△岡田総務課長▽

老朽化が進んでおり更新等の対策が必要と考える。

地域振興事務経費

△松ヶ瀬議員▽

町民向けセミナーの開催回数及び内容は。

△齊藤副町長▽

地方創生に係る講演会で、講師は大学の先生を予定しています。専門的でなく、町民に分かりやすいものとなります。

ふるさと会事業

△菅原議員▽

今年度の事業内容は何か。

△齊藤副町長▽

札幌ふるさと会を開

催します。内容は実行委員会等で検討してもらいます。

遺族会補助金

△清水議員▽

戦没者慰霊碑の管理も遺族会でやっている。予算を増額できないのか。

△山川保健福祉課長▽

遺族会と相談して進めていく。

臨時福祉給付金給付事業

△富樫議員▽

昨年度は1万円給付されたが、何名申請したのか。

△山川保健福祉課長▽

551名です。

△富樫議員▽

事業の周知徹底を図ってもらいたい。

高齢者福祉施設暖房設備改修補助事業

△高橋議員▽

先の説明より大幅に増額された。計画的になされているとは思えない。設計等はできているのか。

△山川保健福祉課長▽

当初、施設独自で加湿器を設置する予定だったが、それでは湿度が保てない。大型の機器にする必要があり、受電設備の改修も伴うため急ぎよ補助の対象とした。また設計はできている。

△高橋議員▽

施設の自己負担はなくなるとのことだが、せめて加湿器の部分を負担させてはどうか。

△山川保健福祉課長▽

一体工事ととらえ補助します。

△大原議員▽

大型の設備投資であり一般財源にも影響する。改修計画を立てて

やるべきではないか。

△齊藤副町長▽

町内に2つ社会福祉法人があります。設立時より大型改修には町が全額補助することになっていない。

△大原議員▽

他の計画を延期して補助を出さなくてはならなくなる。計画的にやってもらわないとならない。

△長屋町長▽

暖房設備の改修に伴い、急ぎよ新たな改修も必要となった。今後は協議し計画的に進めていきたい。

地域で繋げる障がい者就労バトン事業

△高橋議員▽

障がい者・家族・事業所間の体制づくりのようだが、この予算内容では無理ではないか。

△山川保健福祉課長▽
家族間の学習会開催費用を計上しています。

△高橋議員▽

何回開催するのか。また事業所が参加しなければ意味がないのでは。

△山川保健福祉課長▽

3回開催します。また西紋地区の施設にも案内します。

△高橋議員▽

雇用者側の参加が特に必要ではないのか。

△山川保健福祉課長▽

今後検討します。

防犯灯・街路灯整備事業

△松ヶ瀬議員▽

今年の対象地域は。

△齊藤副町長▽

滝美、幸町地区です。

△清水議員▽

害虫対策として病院前の改修もお願いしたいが。

△齊藤副町長▽
計画に入っている。

その数量及び周知方法は。

木質資源地産地消促進事業

また、木質だけでなく農業系もバイオマス資源と考えるが。

△高橋議員▽
利用件数が少ない。地区担当職員を活用し利用率を高めては。

△野尻農政課長▽
総数量は搬入6750㎡、搬出5500㎡です。すぐに各農家に担当者が周知します。

△大原議員▽
特定母樹採種園を町が持つ以上、種苗会社も補助対象にしたら良いのでは。

△吉田林政課長▽
町内に知識の蓄積はあるが、今後を考えるとやはり専門家の調査が必要と考える。また小規模発電等も視野に入れていきたい。

△島岡住民生活課長▽
補助内容に制限があるため利用率が低い。今後は町内会と連携を図ってやっていきたい。

△菅原議員▽
アヒージョの販売数量は。

△大原議員▽
森林保全機能推進事業補助金

△高橋議員▽
木質限定ではないととらえて良いのか。

△野尻農政課長▽
2000個製造し、現時点での販売数量は1070個です。

△菅原議員▽
アヒージョの販売数量は。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△吉田林政課長▽
森林資源が一番多いので、今回はそれを中心に考えていきたい。

△大原議員▽
身体障害者補助犬法が施行されている。これらに対応した客室の整備を追加しても良いのでは。

△大原議員▽
GPSを利用した農業機械化に役立つのか。

△野尻農政課長▽
2000個製造し、現時点での販売数量は1070個です。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△高橋議員▽
木質限定ではないととらえて良いのか。

△星商工観光課長▽
客室の改修はそれ程かからないと思うので、現場と協議していく。

△野尻農政課長▽
GPS対応にはなっていない。農地の団地化等を考えると、今後整備していかねばならない。

△野尻農政課長▽
2000個製造し、現時点での販売数量は1070個です。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△吉田林政課長▽
森林資源が一番多いので、今回はそれを中心に考えていきたい。

△大原議員▽
障がい者に優しい宿泊施設を目指す事が、ホテルのイメージアップに繋がるのでは。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△野尻農政課長▽
2000個製造し、現時点での販売数量は1070個です。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△大原議員▽
屋根・外壁より先に館内のバリアフリー化・客室やボイラー等の修繕を優先させるべきでは。

△大原議員▽
障がい者に優しい宿泊施設を目指す事が、ホテルのイメージアップに繋がるのでは。

△吉田林政課長▽
猟友会と協議して進めている。今後もそうしたい。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△大原議員▽
屋根・外壁より先に館内のバリアフリー化・客室やボイラー等の修繕を優先させるべきでは。

△齊藤副町長▽
障がい者対応についても検証し、できることはやりたい。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△野尻農政課長▽
2000個製造し、現時点での販売数量は1070個です。

△大原議員▽
森林組合に事業を委託するのは、小規模森林所有者だ。もっと補助項目を増やしても良いのでは。

△大原議員▽
屋根・外壁より先に館内のバリアフリー化・客室やボイラー等の修繕を優先させるべきでは。

△大原議員▽
障がい者対応についても検証し、できることはやりたい。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△吉田林政課長▽
猟友会と協議して進めている。今後もそうしたい。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△星商工観光課長▽
館内の改修は逐次行っている。客室の雨漏り等もあるので今年を外壁等の修繕を行う。来年以降も計画的に改修を進めて行く。

「ずっと住まいるたきのうえ」支援事業

△森田議員▽
有機資源の活用だが、

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△星商工観光課長▽
館内の改修は逐次行っている。客室の雨漏り等もあるので今年を外壁等の修繕を行う。来年以降も計画的に改修を進めて行く。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△森田議員▽
有機資源の活用だが、

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△星商工観光課長▽
館内の改修は逐次行っている。客室の雨漏り等もあるので今年を外壁等の修繕を行う。来年以降も計画的に改修を進めて行く。

△高橋議員▽
現場の声を聞かないからすぐ改修しなければならぬのでは。

△田中建設課長▽
3軒分です。

△高橋議員▽
希望者が増えた場合増額補正するのか。

△田中建設課長▽
申請状況に応じて考えていきたい。

△富樫議員▽
無償譲渡された中古住宅も補助対象か。

△田中建設課長▽
有償譲渡のみ対象となります。

特別会計

介護保険特別会計

歳入歳出予算を732万円増、総額を3億8023万円としました。

下水道特別会計

歳入歳出予算を3160万円増、総額を1億6293万円としました。

水道特別会計

歳入歳出予算を2300万円増、総額を8237万円としました。

国民健康保険病院事業会計

収益的収入及び支出 支出44万円増、7億5406万円としました。

資本的収入及び支出

収入9483万円増、1億462万円とし、支出1億616万円増、2億1514万円としました。

その他可決・承認された事項

滝上町中小企業振興資金利子補給条例の制定

「滝上町中小企業融資制度要綱」に基づく資金融資を受けた際、一定の範囲内で融資利率の1/2の利子補給を行う。平成27年4月1日施行

滝上町童話村まちづくり景観条例の一部を改正する条例の制定

認証材活用住宅建設奨励補助事業の拡充に伴い、重複規定を削除した。

公布の日から施行

滝上町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

滝上町職員の給与に関する条例の一部改正と

併せ、新たに管理職となる薬局長、看護師長、副看護師長の役職を現行の業務手当を支給範囲から外し、併せて看護師が救急業務のため勤務時間外に待機を命じられた場合の「待機手当」を新たに設ける。平成27年7月1日施行

滝上町国民健康保険病院に勤務する職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定

医療業務の組織において、新たに放射線及び検査部門に技師長の職を設け、看護師長、副看護師長の職を管理職待遇とするための改正。平成27年7月1日施行

監査委員の選任

平成27年6月15日をもって、任期満了となる監査委員の選任について同意しました。

濁川みどり町 松本 猛氏 (60歳)

固定資産評価員の選任

固定資産評価員の選任について同意しました。

新 町 島岡 勝彦氏 (49歳)

(株)たきのうえドリーム(ホテル溪谷) 平成26年度経営状況について承認

△大原議員▽
仕入れに係る町内の
調達率は。

△星商工観光課長▽

食材については町内
12%、町外88%、飲料
が町内100%、売店
が町内45%、町外55%
となっております。

△大原議員▽

経営が赤字でも仕入
れを町内で調達すれば
地元事業者の育成に繋
がる。これからも町内
企業のためになる経営
を進めて欲しい。

(千円)

項 目	26年度実績	25年度実績
売 上 高	97,626	106,909
売 上 原 価	30,658	34,382
売 上 総 利 益	66,967	72,527
販売費・一般管理費	94,705	96,756
営 業 利 益	△27,737	△24,229
町 受 託 料	27,258	24,330
当 期 利 益	△302	282

(株)グリーンたきのうえ 平成26年度経営状況について承認

△大原議員▽
民有林の売り上げ2
150万円であるが、
原価はどのくらいか。

△吉田林政課長▽

場所によって条件が
違うので一括の原価は
出しておりません。
赤字にならない程度
に事業を推移していま
す。

△大原議員▽

民間企業であればき
ちんと原価管理する。
会社経営としてなっ
ていないのでは。
それから、社長及び
幹部の給与が町から支
給されるため事業の原
価に入らない。ある意
味安く出来るので民間
事業者の経営を圧迫し
ていないか。

△吉田林政課長▽

箇所毎の収支計算は
されている。

また、民有林の小規
模面積、若齢級等利益
の出ない箇所を中心

(千円)

項 目	26年度実績	25年度実績
売 上 高	111,263	99,682
販売費・一般管理費	109,229	99,659
営 業 外 収 益	1,094	1,415
経 常 利 益	2,491	590

やっているので民間事
業者の経営圧迫にはな
っていないと考える。

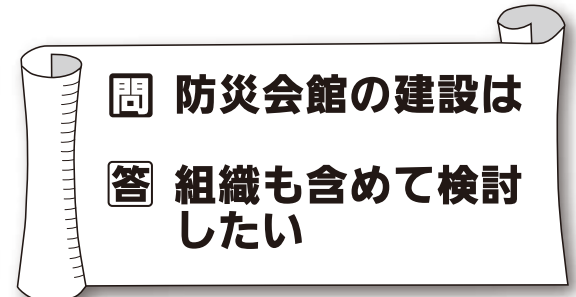
一般質問



問 防災会館の建設は

答 組織も含めて検討したい

△大原議員▽
現在、町には11カ所の指定避難所が設置されています。
うち学校教育施設3カ所、社会教育施設2カ所です。
これらは小規模な災害の際に一時的避難所としては使えますが、1、2週間避難所として



△長屋町長▽
この会館は今回改訂した地域防災計画の中で、避難所には指定さ

ここで町長に提案します。
滝上町消防団第2分団が使用している栄町消防会館は1980年に建設され傷みが激しく、また支署も含めて耐震診断も行われておりません。新たに、消防車庫・避難所・備蓄庫を兼ね備えた防災拠点施設を建設してはどうか。

て使用するには支障があると思います。
また滝上市街地にある避難所は地震の際には使えません。
安心して全ての災害に避難所として使えるのは、基幹集落センターのみと考えていいのではないかと。
しかし濁川地区が被災地となった場合は使用できないことも予想される。

れておりません。指摘のとおり栄町消防会館は昭和55年に建築され、現在のところ建て替えの計画は進めてはいません。
しかしながら住民の安全、安心の確保上、この本会館については地域防災上の重要施設ということから、然るべき時期に改築或いは新築移転等を含めた対

応については検討していかねばならないと考えています。
△大原議員▽
この計画によると、災害の際は最初に住民の自助、共助が要であると謳われています。現在町内会でそういう防災組織はありません。
町内会連合会と協議



栄町消防会館

△長屋町長▽
今年改定した防災計画では、住民が出来ること、お互いに助け合うこと、行政がやることというように3つに分かれています。
町内会連合会会則に連合会の下に下部機関として、6部会をおくという規定があります。
他の市町村での防災活動状況なども十分調査した上で、町内会連合会とも意見交換を重ね、今後、各町内会単位で各種自然災害に備えた体制の在り方、或いは防災活動について検討していきたい。

一般質問



問 病院の医療体制の確保は重大だが
答 全力で取り組む

1回目の質問
高橋議員 看護師不足となった原因は。また医療スタッフ確保策、その結果の検証は。
長屋町長 契約看護師の大量退職です。また医療スタッフ確保には、道・医大・医療コンサル等を通じて募集を行っている。看護師につ

いては少ないが内定者もいる。

議員 議会提案に対する町長の考えは。また施政方針の「組織の見直し」とは何か。

町長 議会提案策については、可能なものは適宜対応している。また病棟・外来ごとに指揮系統を強化していく。

議員 病院改革を議論する組織はあるのか。

町長 病院運営委員会で協議している。内容は予算や町民の要望等である。

議員 休止前の在宅訪問診療患者数は。また再開の見込みは。

町長 在宅訪問患者数は約80名です。また夜間救急の再開に合わせ徐々に再開したい。

議員 平成21年策定の国保病院改革案では、民間移譲・指定管理者制度を検討するとなっていたが。

町長 滝上町では医療の民間移譲等は無理がある。

2回目の質問

議員 例え今、看護師数を確保したとしても、その原因を分析し改善しなければ同じ事が起きるのではないか。

町長 まずは医療スタッフ数の確保に全力で当たる。それと並行して組織の改善を図る。

議員 病院改善策を実行するのなら、その期日を示すべきではないか。

町長 時期の明言は難しい。

議員 会議の時間、その提案内容は。

二富事務長 会議は1.5時間前後で、内容は予算決算が主です。今年3月の会議では看護師確保についても検討した。

議員 訪問診療再開まで交通費を補助しては。

町長 現在車いす利用患者が6名いる。今後は病院による送迎を検討したい。

議員 医療高齢者福祉の計画書では、在宅診療支援・一般病棟54床維持が謳われている。町長の後援会便りでは、病床数を見直すとなっているが。

町長 現在の病床利用者数は約40名前後である。病院経営を考えると、これを基準と考えるても良いのではないか。

△高橋議員▽

1.5時間程度の会議で実りある意見が出たのか。またいろいろな意見を言える雰囲気を作り出せたのか。

現在の病院経営を考えると、委員さんには申し訳ないが集中的に審議してもらいたい。そして今後病院が良くなるような対策を立ててもらいたい。

△長屋町長▽
 運営委員会の時間・回数共に足りないと思う。また自由に意見を言える雰囲気も作れていなかった。

私を含め多くの人が情報を共有し、病院経営を行っていききたい。そのためにも定期以外に運営委員会を開催して町民の意向を取り入れていきたい。また病院は今後も自治体病院として運営すべきと考える。

**医療スタッフ
 募集中!!**

一般質問

問 滝上高校募集停止後の支援策は
答 早急に検討する

△高橋議員▽

現在の中学校2年生からは、卒業後高校などに進学する生徒については全員が町外の学校に進まなければならぬ。これに対し現在町が検討している支援策があったら聞きたい。合わせて北海道の補助政策についても聞きたい。

町としての恒久的な支援制度の創設について聞きたい。

町に高校が無くなった後も、高校卒業までは、町が責任を持って

通わせるということが必要ではないか。人づくりはまちづくり、まちづくりは人づくりからだと考える。

紋別に通う場合には定期券代を。町外に下宿の場合などは部屋代相当額を、町として恒久的な制度を作り補助することは可能だと思いがいかか。

△長屋町長▽

道の教育委員会ではこの通学区域内の他の学校に通学することになった生徒を対象にしている。保護者の経済的な負担を軽減するために募集停止後5年間通学費、或いは下宿費の補助を行う。

△奥田課長▽

通学する場合、定期券の購入代に対し月額1万円を超える額が補助される。

下宿、間借りする場合は部屋代のみが対象となり、月額1万円を

超えた額で上限額が25千円に設定されている。

△長屋町長▽

所得制限等により道の補助対象にならない場合は、町として同額を補助しなければならぬかなど考えている。早い段階で支援の内容を示して、今年度中に決定したい。

5年間北海道の補助

はあるが、その後紋別高校に通学する生徒に対して、町として通学費だとか下宿費だとかの補助について何らかの支援はしなければならぬと思っている。

恒久的な支援策につ

いて、町外の高校へ通学又は下宿ということが増えるということは明らかである。額など検討していきたい。

△高橋議員▽

町が金銭的な支援をすることで、子どもが

他の町の高校に通いながらでも今まで以上に滝上町ということに常識してくれるのではないかと。私は滝上町にこうやって援助してもらいながら育ってきたんだと。そういう中で卒業以後に私は滝上に戻りたいと考える子どもも増えていくと思う。

財政調整基金が平成

26年度末には約22億円にまで増えている。それを子どもたちのために、町の将来のために使うべきだと考えるが。

△長屋町長▽

若い人たちが意欲をもっていろんな学校生活を送り、そして町に愛着を持つということも私としては期待するところだ。

今の意見も踏まえながら、今年度中に生徒の負担のあり方、あるいは町の補助の内容について検討していきたい。

△高橋議員▽

職業科や専門学校など一番多くの選択肢があるのは札幌市だ。町として子どもたちの寮を札幌市の便の良いところに設けることも必要だということも私は考えている。そういうことも検討してもらいたい。

△長屋町長▽

一つの理想的なアイデアということを受け止めたい。

基本的に募集停止後の子どもたちが通学する学区でいうと紋別高校になるので、それが一つの基本だと捉えている。

一般質問



問 職員への意思伝達は

答 体制は整っている

△清水議員V
町長の行政姿勢、意気込みが全職員にあまねく伝わっていないところが町政の大きな障害になっていると思う。
町長は住民説明会で「看護師の確保と夜間診療再開は最大かつ最速を要する最重要課題

であり全力で取り組む」と言った。
にも係わらず町職員には町長の決意、その危機感、事の重要性が伝わっているとは到底思えない。事の重大さを全職員が認識していたか。
役場内における幹部会議の席上、病院事務長は機会あるごとに看護師募集の協力をお願いしていた。
しかしそのお願いは各課幹部の皆さんには町政最大の危機的問題として全職員一丸となつて解決に努めようという意気込み熱意が薄かったのではないか。
それゆえに各幹部から末端職員に伝わらなかつたのではないのか。
町民最大の関心事を町職員は町民と意識を共有しているのか。
町長は危機感を持って町職員に事態の重大さ、周知徹底させる行動を起こしたのか。
滝上町ホームページ

(HP)の看護師募集のページが給与改定後3カ月間放置されていた。
町長は末端職員まで病院問題を含め自らの施政方針が行き届いていると考えているか。
△長屋町長V
住民説明会での発言は今も変わっていない。昨年の定例幹部会議で、病院事務長から看護体制の危機の報告があった。
職員から潜在的な人材情報を提供してもらうように指示をした。
各課長を通じてそれぞれの課の職員にも伝達をされている。
HPの未更新の件については、反論の余地はありません。
今後町から発信する全ての媒体においては正確かつ迅速な情報提供が出来るように努めたい。
私の考え方は職員に行き届いている。各課

の役割分担の中で職員は自分の仕事について全力を傾注している。重要な問題は、情報共有し、同じ視点に立って職員も仕事をするということが基本です。事の認識に違いがある職員がいるということなので、今後十分考えが伝わるようにしたい。
△清水議員V
町長の意思を末端まで伝達し、指導調整するポストが必要だと思ふ。
施政方針を含め職員全員にその意思を伝達、徹底するプランを聞きたい。
前副町長の施策で改善する部分があったら、聞きたい。
△長屋町長V
副町長の立場でもあるいは進めていく中で軌道修正とか、アドバイスが当然出てくると思っている。私もそれは率直に受け止めてい

きたい。齊藤副町長のカラーが出てくることを期待している。
△清水議員V
問題意識を町長から臨時を含む全職員が共有することが極めて重要だ。
施政方針のサブタイトルは滝上町民憲章そのものです。それを認識していない職員がほとんどだ。
機会あるごとにこの町民憲章を斉唱し、町長・副町長と全町職員、更に全町民の皆さんの意識の共有の一助とすることは出来ないか。
△長屋町長V
議員からの朗唱の提案も一つの方法だと思うが、町民憲章がこの町政執行に広く浸透するように今後とも取り組んでいきたい。

一般質問

問 朽ち果てた町施設の撤去について

答 計画的に進めている

△清水議員▽

施政方針で、廃屋解体などの景観整備を行うとされている。

しかし再利用の見込みもなく、廃墟廃屋と化した町施設が撤去されることなく放置されているのはなぜか。

目に余る廃墟と化した町施設の中には上白鳥小中学校校舎など教育関連施設だけでも多数ある。

更には旧町民センター、旧一区会館、桜ヶ

丘スキー場展望台等多数ある。

再利用しない施設を放置したままにする理由はどこにあるのか。解体撤去の意思があるのか聞きたい。

△長屋町長▽

景観上、或いはその危険度から早急に撤去を要するもの。幹線道路に隣接しているもの。将来使用の見込みが無いもの。それらを優先して解体をしてきた。幸町会館は国の4割補助の見込みが付いたので今回予算措置した。

町民センター等も補助申請しており、その他も計画的に解体を進めている。廃校なども、放置して置こうとは考えていない。

学校施設は大きいので撤去費用が多額になる。施設の数、現状を把握し、計画性を持って取り組んでいきたい。

△清水議員▽

町職員と町民有志から構成する現地調査チームを作り検証しないか。

幹線道路ということであれば滝奥の校舎、教員住宅も対象になる。更に町施設で使用停止後再利用の見込みが無いと決した時は早期に撤去整理を行うことは検討できないか。

△長屋町長▽

早々に壊してしまうということは壊す財源、多額の費用がかかる。再利用するしないは状況により変化する。

平成23年、職員が町内の公共施設、学校等を含めたすべての空き屋を調査している。これらの資料を活用して解体等についても適宜対策を講じていきたい。



旧一区会館



旧町民センター



旧上白鳥小中学校



旧滝奥教員住宅

一般質問



△森田議員

町道交差点除雪は一方しか行われていないため、もう一方の車両通行ができないなど、早朝勤務の方は大変苦労している。国道、道道は交差点を小型ショベル等で除雪している。町道交差点も小型シ

問 高齢者住宅前の除雪も

答 仕組み作りを進めたい

ヨベル等で通行に支障のないよう対策を取るべきではないのか。

次に町長は施政方針で高齢者の玄関前除雪について述べている。昨年の大雪の際、町職員等で高齢者宅を除雪した。その際高齢者の住宅を把握していないことから、取り残しもあったと聞いている。

高齢者の玄関前除雪は、新たな高齢者福祉事業として考えるべきと思うが。町長の考えを聞きたい。

△長屋町長

児童生徒の通園通学路、バス路線を優先して順次除雪をしている。交差点の除雪は一時的に堆積する場合は、すぐに解消するように努めている。

次に高齢者の玄関前の除雪対策は、公約の中で言ったように何とか解消を図りたい。今、本町の高齢者住



高齢者住宅前の除雪

宅の除雪は、一つは在宅支援事業として社会福祉協議会に除雪サービスを委託している。しかし除雪対策が万全とは考えていない。高齢者が安心して住み続けられる町づくりの一つとして、雪かきサービスを組み合わせて高齢者の暮らしを応援していく。

具体的には
1. 市街地を中心に事業業者による請負。
2. 町内会と連携し自助、互助、公助で高齢者を支え合う体制を作っていく。

△森田議員
町道同士の交差点が何箇所もあります。不便に感じている町民がいるので、1箇所でも多く除雪する体制をとってほしいが。また高齢者の玄関前除雪制度についても進めてほしい。

△長屋町長
福祉施設の方は5時半から早朝勤務と聞いている。大体除雪が終わるのが6時ぐらいなので、場合によっては2、30分の差が出る。一番良いのはショベルが着いていくことだが、そのための人員確保は厳しい状況です。きめ細かく除雪をするよう、ショベル等の増車も検討したい。

一般質問

問 少子化対策でできることは
答 きめ細かく考えていきたい

△森田議員▽

現在、町内で独身男女が出会える場やきっかけを作れる場が見当たらない。地域行事の中で、男女が出会えるような企画があればよいと考えるが。

また今年3月に実施した社会教育事業の中のポットラックのような事業が、年に何回かあればよいと考えるが。現在、町では赤ちゃんの成長と共に絵本の支給・15歳までの医療

の無料化・保育料の軽減・お残り児童に対する支援等を行っているが、足りないように思う。

人口減少の歯止めには、働く場所の確保や医療の充実、地域コミュニティによる精神的サポートなどニーズを的確に捉えた対応が求められる。

町として結婚・第一子誕生と生活設計の中でもっと助成すべきだと思うが。

結婚祝い金、誕生祝い金を支給する。子供の成長過程の中で、おむつ及び捨てる為のゴミ袋・ミルク・小学校入学時にランドセルの支給、中学校入学時には指定ジャージ等の支給等をしても良いのではないか。

町として一つの家庭に関わりを持って少子化対策を進めて欲しい。町長の考えを聞きたい。

△長屋町長▽

男女の出会いの場が必要と思うが、行政が直接関与するより今ある行事の中で機会を作った方が良いと感じます。またポットラックについては教育委員会とも協議したい。

施政方針でも述べたが、お子さんに対しておむつの支援、小中学校入学時に文具等の支援について考えています。

また持家の促進対策として、今回「ずっと住まいる」たきのうえ支援事業という住宅建設の補助制度を設けた。これは若者に対しての住宅建設補助加算制度です。

かつては滝上町にもお祝い金制度があった。今回はおむつ支給を考えている。これが2年で約24万円です。

またランドセルを買うのは祖父母の楽しみでもあるようなので、支給については検討を

要すると思う。おむつ用ゴミ袋は金額的にたいしたことないので、おむつとセツトで支給するよう考えたい。

個人の考えるところで。町としては今後とも引き続き子育て環境に配慮した政策を展開して町民の皆様が安心して子育てが出来るような環境整備に努めていきたい。



ポットラック事業

臨時会 5月11日

平成27年第3回臨時会を5月11日開会し、一般会計補正予算及び人事案件1件、専決処分4件を承認・可決し、同日閉会しました。

副町長の選任に同意

平成27年5月11日をもって、任期満了になる副町長の選任について、同意しました。

滝美町

齊藤 勇 氏

(55歳)

一般会計

歳入歳出予算に1436万円を追加し、総額を34億6563万円としました。

△歳入▽

▽国庫補助金

920万円増

▽町債

480万円増

△歳出▽

▽滝上中学校耐震補強

事業

1436万円増

条例改正は、「滝上町介護保険条例」で専決により条例の一部改正を行ったものです。

専決処分を承認

議長・議員の活動報告

5月8日～
7月15日まで

【町内行事】

5月8日

第2回臨時会

10日

第31回植樹祭

11日

議会運営委員会

11日

第3回臨時会

13日

平成27年度滝上町商工会通常総会

16日

春の一斉清掃報告会及び衛生部員勤続表彰式

16日

滝上ロータリークラブ都市連合会

25日

全員協議会

27日

平成27年度滝上町防犯協会総会

6月3日

吉岡前越知町長他来町に伴う歓迎夕食会

9日

議会運営委員会

9日

第4回定例会

9日

総務文教・産業建設常任委員会

21日

第5回滝上町こども園運動会

21日

平成27年度滝上消防団消防演習

28日

北海道町村議会議長会自治功労者表彰伝達式

29日

自由民主党滝上支部パークゴルフ大会

7月11日

所管事務調査

14日

15日

【町外行事】

5月13日

高規格幹線道路早期建設促進期成会総会

19日

オホーツク町村議会議長会総会

22日

オホーツク圏活性化期成会総会

22日

遠紋地区市町村議会議長会定期総会

6月4日

北海道町村議会議長会定期総会

17日

西紋別地区総合開発期成会要望活動

18日

オホーツク圏活性化期成会建設専門委員会

22日

西紋別地区総合開発期成会要望活動

23日

自民党北海道第12選挙区支部政経セミナー

7月4日

北海道町村議会議員研修会

7月8日

(札幌市)

(紋別市)

(佐呂間町)

(網走市)

(札幌市)

(札幌市)

(札幌市)

(札幌市)

(札幌市)

(札幌市)

臨時会 5月8日

議長・副議長あいさつ



議長 小野 博實

このたび、不肖私、議員の皆様方のご推薦をいただき、滝上町議会議長の要職に就任させていただくことになりましたことは身に余る光栄に存する次第でございます。

私は議員経験も浅くまた浅学非才でありまして、ここに皆様方の推挙を受けました上は身を挺して、そのご厚情に対しお報いの覚悟を新たにしているところでございます。

議会運営につきましては、議会運営委員会の意見を尊重しながら、不偏不党、公正無私をモットーとし、言論の府として町議会が円満に運営されますよう誠心誠意、努力する所存でございます。多様化する住民ニーズに応えるよう執行機関と議会が一体となって本町の発展、住民福祉の向上を目指し、職責を全うする覚悟でございますので、重ねて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



副議長 菅原 賢司

副議長の就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。この度の議員各位のご協力をいただきまして、滝上町議会副議長の要職に就かせていただきましたこと、この上ない光栄と存じます。

同時にその職責の重大さを痛感するものであります。先輩、同僚議員の皆様方のご支援ご協力をいただきまして、名誉ある席を汚すことなく一生懸命努めてまいりたいと思っております。

今後ともご指導・ご鞭撻の程ひとえにお願いをして就任のご挨拶とさせていただきます。

第2回臨時会は、統一選挙後初めての議会で、5月8日開会しました。

滝上町議会議長の選挙等が行なわれ議会の組織等について、次のとおり決まりました。

議長 小野 博實 監査委員（議会選出）

副議長 菅原 賢司 松ヶ瀬 哲朗

総務文教常任委員会 紋別地区消防組合議会

委員長 原田 清二 議員

副委員長 松ヶ瀬 哲朗 原田 清二

委員 富樫 享 富樫 享

委員 森田 寛 森田 寛

委員 清水 優 西紋別地区環境衛生施設組合議会

委員 高橋 浩徳 松ヶ瀬 哲朗

産業建設常任委員会 大原 満

委員長 大原 満

副委員長 菅原 賢司 広域紋別病院企業団

委員 富樫 享 議会議員

委員 森田 寛 森田 寛

委員 清水 優

委員 高橋 浩徳 議会議員会

議長 菅原 賢司

副議長 原田 清二 副会長 高橋 浩徳

委員 菅原 賢司 監事 原田 清二

副委員長 原田 清二 監事 小野 博實

委員 大原 満

最近の町内行事

こども園運動会 6月21日



消防演習 6月28日



北海道町村議会議長会表彰

去る6月17日開催された北海道町村議会議長定期総会において、全国町村議長会に続き、故岩崎鎮男議員と松ヶ瀬哲朗議員の2名が表彰されました。両議員は15年以上町村議会議員として地方自治振興に寄与された功績に対し表彰されたもので、6月29日正副議長室にて議長より表彰の伝達を行いました。



故岩崎議員の布沙子夫人



松ヶ瀬哲朗議員

新広報委員スタート!

(再生紙を使用しています)



この度の改選により、議会広報特別委員会の体制が新しくなりました。

今後、町政の情報発信源として議会の動向をわかりやすくご家庭にお届けして参りたいと考えております。

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 大原 | 満 |
| 副委員長 | 森田 | 寛 |
| 委員 | 高橋 | 浩徳 |